

「香美町立香住小学校 教諭」
西脇 正和さん
(新温泉町)

パラリンピックに挑む 小学校の先生

但馬人 ◆ 交差点



「スポーツは見るよりする方が好き」という小学校教諭・西脇正和さんは、6年前に病気で下半身と左手の自由が利かなくなりました。車椅子で過ごすようになってから「動きたい」という欲求は以前より強くなったという。そして、偶然テレビで見たシドニーパラリンピックが西脇さんにある目標を抱かせた。

病気になる前からずっと続けてきた水泳でパラリンピックを目指す：イメージは完璧、自信があった。しかし実際プールに入ると、思うように前へ進めない。
「自分の両足の重さに驚きました。イメージでは手の力だけでもスムーズ

ズに泳げるはずだったんですけど…」と、西脇さんは当時を振り返る。

普段から「目標を立てて全力で取り組むことが大切」と小学校の児童達にも教えている通り、西脇さんもあきらめなかった。どうやったら早く泳げるか、その答えを模索する内に、どんだんのめり込んでいった。

週に3〜4回、仕事を終えてから地元の温水プールに通い、約1時間のトレーニング。自ら練習メニューを作り、持ち前の探求心の強さから、新しいフォームや技法も積極的に取り入れた。

一人で練習に取り組む西脇さんにとつて、大会は絶対のトレーニング場所だという。

「他の選手の泳ぎを見て研究できるし、意見も聞くことができます」
昨年、日本身体障害者水泳選手権の前に取り入れ、手応えを感じていた「スカールリング」という技法は、同じ障害を持つパラリンピックの金メダリスト、成田真由美選手も取り入れていると聞き、その効果を確信したそう。

※ 大会ではU.L3クラス・男子平泳



練習法はすべて独学。自ら撮影したビデオを見てフォームを改善することも。

ぎの100メートルと50メートルで見事優勝。特に100メートルでは自己記録より8秒以上も早い3分15秒24という好成績を収めた。

今後は、2008年の北京パラリンピック出場を目指して、その標準記録突破に挑む。5月には国内の大会にも参加と意欲的だ。

西脇さんのそうしたパワーはいつたどこからくるのだろうか。
「やっぱり、好きだから」と、笑顔で明快な答えが返ってきた。

好きな言葉は「一意専心」。目標を決め、それに向かってとことん打ち込んでいく西脇さんの姿は、きつと周りの人たちにも大きな力を与えている。

街を彩る。

伝えたいイメージを的確に伝える多彩な演出。
今、街がメディアに変わる。

【施工例】



ショーケース



ホール壁面装飾



観光案内マップ



屋外シャッターマーキング



エントランスサイン



ラッピングバス

詳しいお問い合わせ・お申し込みは

Quick Quality Cost
Group 岩見印刷株式会社

【本社・IPメディアテクノロジー】
兵庫県豊岡市日高町土居67-1 TEL.0796-42-1200 (代)
【ホームページ】http://www.iwami-hidaka.co.jp
【e-mail】info@iwami-hidaka.co.jp

【福知山支店】TEL.0773-23-4002 (代) 【神戸支店】TEL.078-291-6600
【京都営業所】TEL.075-865-2977 【東京営業所】TEL.03-3237-7583

「映像」を「グラフィック」に表現
グラフィック彩現

IMAGE GRAPHICS

写真やイラストなどのフルカラー原稿を忠実に再現。あらゆる景観装飾に対応する美しいグラフィックス展開を実現します。

人と土に癒される だんだん田んぼ(棚田)の故郷へ

農業体験のすすめ

まるで天へ登る階段のよう。山間の傾斜地に巧みに作られた段々の田んぼに、なつかしさがこみ上げる。

多くの棚田が残る但馬の山峡部。かつて人々の食を支えたいびつな形の田んぼは、今、オーナー田となり、山の荒廃防止に一役かっている。

香美町村岡区大笹。冬はスキー客で賑わう旅館が建ち並ぶ当地区は、但馬で棚田オーナー制度を実施する



1、2:田植え(5月) 3:草取り・かかし作り(6~7月) 4、5:稲刈り(10月) 6:田んぼ横の畑で育てたサツマイモもどさり収穫。大根や蕎麦を作った年もある(写真提供:ハチ北観光協会)



地域のひとつだ。2002年の開始以来、毎年、尼崎や姫路から、農業体験に人々が集まってくる。子どもたちの学びの場として、家族連れのリピーターが多いのが特徴だ。

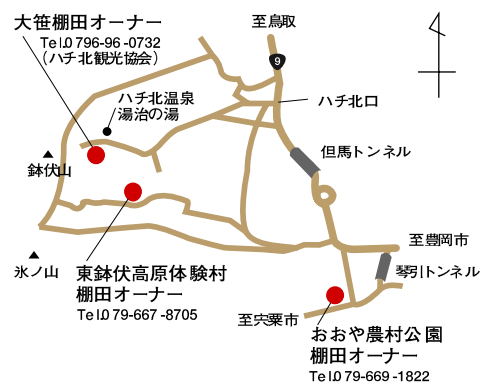
農業未経験でも心配は無用。地元の有志らが指導にあたり、苗代の準備や道具の貸出、日頃の水管理などを担当してくれる。参加者は年3回、田植え・草取り・収穫と、季節ごとの米作りを体験できる。秋には玄米30キロが自宅へ届く。温泉やスキー場リフト券の割引の他、近隣施設の割引特典もある。

だが、得られるのはモノだけではなく。食の大切さや育てることの喜びを肌で感じ、家族の絆が深まることも大きな収穫だ。参加者同士も仲良くなれる。「ぜひ子どもたちや若者に体験して欲しい」とは、「大笹だんだん田んぼの会」事務局の西村さん。参加者に喜んでもらうのはもちろん、自分たちも楽しんでいるのだという。家族やグループで、気軽に米作り

但馬の主な棚田オーナー制度

- 大笹棚田オーナー
定員20/1口3万円(1a)/申込締切4月20日
問:だんだん田んぼの会(香美町村岡区大笹)
- おおや農村公園棚田オーナー
定員20/1口1万2千円(30m²)~
問:(株)おおや振興公社(養父市大屋町)
- 東鉢伏高原体験村棚田オーナー
定員20/1口3万5千円(1a)/申込締切4月20日
問:東鉢伏高原体験村(養父市別宮)

に挑戦してみよう。前泊で参加するのもいい。農作業で汗した後に入る温泉は格別だ。田舎人たちの素朴なもてなしと、土と空気が、また来年もやろう、という気持ちにさせる。10月下旬、棚田での思い出とともに、新米がやってくる。いつもより美味しいそのお米に、食卓には明るい笑い声が響くだろう。



こだわる きもの屋

新作振袖発表 3月中

個性豊かな商品の品揃え。あなたらしいトータルコーディネートをご提案。
私はモダン好み... 古典好み... 超カワイイのが好き...

KIMONO SALON KEITANI
きものサロン けいたに

フリーダイヤル 0120-529-008
〒668-0084 兵庫県豊岡市福田1887-1
電話 0796(24)9239番
FAX 0796(24)0185番
E-mail: kimonosalon@nkansai.net

